



令和8年産も「需要に応じた米生産」と「水田フル活用」に取り組みましょう!

◎「需要に応じた米生産」



富山県の令和8年産主食用米の生産目標

①全国の生産量の目安711万トン(7年産米目安+4.1%)、②富山県産米の需要動向を踏まえた上で、③富山米の安定供給を一層図るため、新たに、水稻種子や酒造好適米、もち米、「富富富」について、**上乘せ新規枠を設け、**県段階の生産目標を

186,016トン、面積換算で34,000ha(前年実績比+0.9%)

として設定しました。

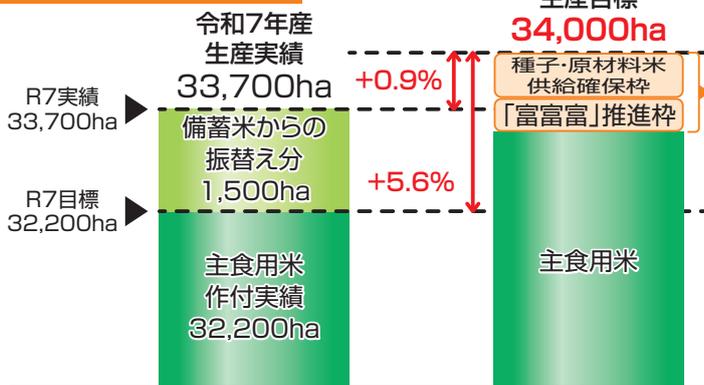
全国の米づくりをとりまく状況



全国的な人口減少はあるものの、今般のコメ不足やインバウンド需要の増加などを背景に、国は需給見通しの算出方法等を見直し、令和8年産の主食用米の需要量を最大711万トンとしました。こうした中、全国的に生産目標を超える作付けが行われ、供給過剰となれば、米価下落や過剰在庫の発生が懸念されます。このため、需給と価格の安定に向けて、今後とも「需要に応じた米生産」に取り組むことが重要です。

本県では、これまで生産目標に沿った作付けに取り組んできており、引き続き、県全域で「需要に応じた米生産」に継続して取り組みましょう。

富山県の令和8年産生産目標の考え方



上乘せ新規枠について

- 種子、酒米、もち米は低単収のため必要な量を確保できない可能性
 - 近年の高温による収量品質の低下を回避するためにも高温耐性品種の推進が必要
- ⇒「**上乘せ新規枠**」を創設し、種子・酒・もち・「富富富」の作付けを推進

“需要を超える増産”が行われた場合

各県が需要に応じて「生産目標」を設定

しかし、全国で「生産目標」を超えた作付けとなれば…

全国的なコメの供給過剰



富山県産米の多くが県外に出荷されており、全国の需給動向の影響を受けることは避けられず、県全域で生産目標に沿った作付けが重要です。

また、近年、高温化傾向が顕著となっていることから、「富富富」等の高温耐性品種への切替えを進め、引き続き、高品質でおいしい米づくりを行いましょう。

生産者、JA、行政等が一体となって「需要に応じた米生産」に取り組みましょう

◎「水田フル活用」による生産性・収益性の向上に取り組みましょう

- ①「米の生産目標」や、地域の「作物別の生産方針」を参考に、作付計画の検討や土地利用の調整を実施しましょう。
- ②「経営所得安定対策等」の国の制度も活用し、水田のフル活用に取り組みましょう。
- ③調整水田や大麦の収穫後の遊休農地等を積極的に有効活用しましょう。



作物別の生産見通し

作物	令和7年実績 → 令和8年目標	生産方針
主食用米	33,700ha → 34,000ha (+300ha)	・県産米が需要に応じて安定的に供給できるよう、8年産の生産目標は前年産実績を上回る水準で設定 ・種子、酒造好適米、もち米、「富富富」を実需者・消費者に安定供給するため、「上乘せ新規枠」を設定 ・引き続き、生産目標に沿った生産を推進
加工用米	1,270ha → 1,300ha (+30ha)	・安定的な需要に対応するため、生産の維持拡大を図る
飼料用米	1,470ha → 1,270ha (▲200ha)	・一般品種から多収品種（やまだわら（晩生）、アキヒカリ（早生））へ切り替えを推進する ・県内畜産農家の需要に応じた生産・供給を確保しつつ、継続的な取組みを推進する
備蓄米	1,500ha → 500ha (▲1,000ha)	・地域の取組希望に応じた生産を推進
麦・大豆	実需者が求める高品質かつ安定生産を推進する。	
調整水田等	調整水田や麦あとの遊休農地などを積極的に利用した作物作付を推進する	

温暖化に対応した米産地への転換

「富富富」や「てんたかく」等の高温耐性品種への切替えや高温への技術対策を進め、温暖化等の気候変動に打ち勝つ米づくりに取り組みましょう。

- 高温耐性品種「てんたかく」、「富富富」、「てんこもり」の作付拡大
→高温耐性品種の作付割合：50%（令和10年）
- 健苗育成と適切な田植えによる初期茎数の確保
- こまめな水管理、的確な追加穂肥の施用による稲体活力の維持



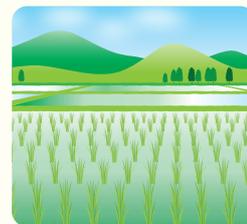
コメ新市場開拓等促進事業（国支援）の見直しについて

本事業は、以下の品目について、『低コスト生産等の取組メニュー』に3つ以上取り組む農業者を支援*しており、令和8年度から実需者ニーズに対応するため、以下のとおり支援制度が見直しされます。

*各地域協議会単位でポイント順に採択、戦略作物助成との重複交付は不可

【共通事項】

- ①多収品種*による取組の場合は、助成単価に5千円/10aを上乗せ（酒造好適米を除く）
 - ②『低コスト生産等の取組メニュー』に「高温耐性品種*の作付け」を追加
- *対応する品種については、お住いの地域農業再生協議会（市町村JA）へお問合せ下さい。



【品目ごとの見直し】

対象品目	助成単価	品目別の見直し内容
新市場開拓用米	4万円/10a	（共通事項のみ）
加工用米	3万円/10a	（共通事項のみ）
米粉用米	9万円/10a	「パン・めん専用品種」に限定せずに支援
【新設】酒造好適米	1年あたり1万円/10a	酒蔵との契約に基づく取組年数に応じて支援（最大3年）

※詳細は、お住まいの地域農業再生協議会（市町村・JA）へお問合せ下さい。